

(4)花とみどりの三重づくり基本計画の 年次報告について





1 はじめに（年次報告の位置づけ）

今回の年次報告は、基本計画に基づき、県が実施した令和6年度の各施策の実施状況について、計画策定後の最初の年次報告書としてとりまとめ、条例の規定に基づき、県議会に報告し、公表するものです。



年次報告書 表紙

【年次報告書の構成】

第1章 はじめに

- ・ 年次報告書の位置づけ、計画の基本的な方針

第2章 令和6年度の実施状況

- ・ 基本的施策の展開、令和6年度の実施状況

第3章 目標の進捗状況

- ・ 目標の進捗状況、推進体制、進捗管理



めざす姿

花とみどりで優しさあふれる
健やかなふるさと三重

基本理念

県民及び
事業者の
意識の高揚等花とみどりの
効用等の
有効活用多様な主体の
連携協力取組の
視点1 花とみどりを
知る

県民及び事業者等が主体的に取り組むためには、花とみどりの効用や大切さを理解することが重要であるため、情報発信やイベントを通して、「知る」機会を創出します。

2 花とみどりを
魅せる

花とみどりにさまざまな効用があり、人びとの生活にうるおいや、やすらぎを与えることができるため、公共空間等に取り入れ、県民に「魅せる」施策を推進します。

3 花とみどりで
つなぐ

花とみどりを活用するためには、県、国、市町、県民及び事業者等が相互に連携し、協力関係を築くことが重要であるため、さまざまな支援をとおして多様な主体を「つなぐ」施策を推進します。

基本的
施策
(10施策)

県有施設等での活用

文化振興

人材育成等

顕彰

街路樹等の機能発揮

教育等の推進

情報収集等

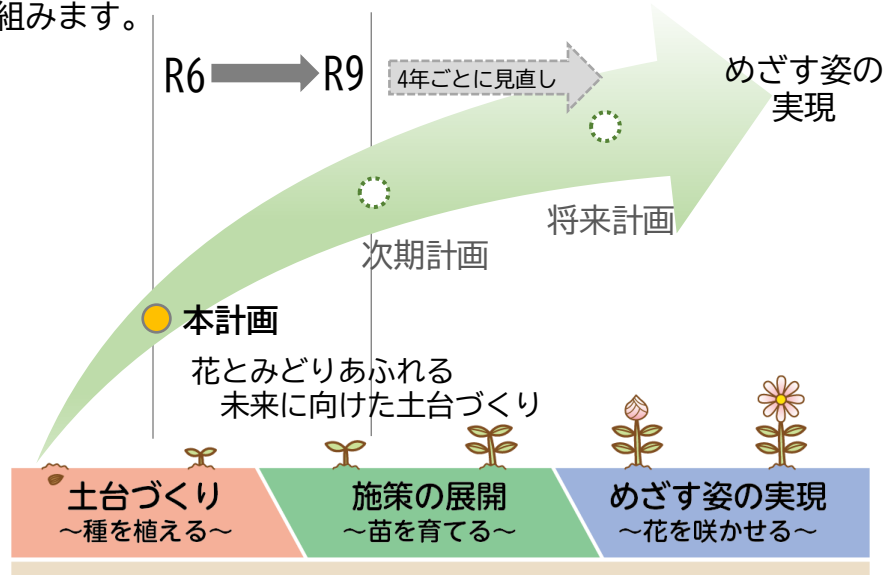
社会福祉施設等での活用

名所づくりの推進

理解の増進等

R6-R9
基本方針花とみどりがあふれる
未来に向けた土台づくり～多くの県民が花とみどりが活用された
まちづくりを実感するために～

条例が制定されて、初めてとなる本計画の期間は、「花とみどりがあふれる未来に向けた土台づくり」をめざす4年間とし、現在各部局が取り組んでいる花とみどりに関する施策を計画に位置づけて体系的に展開するとともに、県民が花とみどりに関心を持つことができるよう気運醸成に注力して取り組みます。





取組の視点をふまえ、条例で定める10の基本的施策ごとに具体的な取組を進めます。
また、基本的施策と取組の視点の関係性について、以下のとおり整理しています。

基本的施策	取組の視点		
	知る	魅せる	つなぐ
1 県有施設等における花とみどりの活用		●	●
2 街路樹等の機能の発揮		●	●
3 社会福祉施設等における花とみどりの活用の促進	●		●
4 花とみどりの文化の振興	●	●	
5 花とみどりの教育等の推進	●		●
6 花とみどりの名所づくりの推進	●	●	
7 人材育成等	●		
8 情報収集等	●		
9 県民及び事業者の理解の増進等	●		
10 顕彰	●		●

※表中の「●」印は、各基本的施策において特に関わりが深い視点を示しています。



2 令和6年度の取組状況（施策1：P14～P22）

1 県有施設等における花とみどりの活用



（1）県庁舎等における緑化、植栽等の推進



植栽、樹木管理
（津庁舎）



植栽管理
（県営サンアリーナ）



四日市庁舎の玄関ホールの生け花
（ボランティアの方により30年以上継続）

（2）都市公園等における緑化の推進



植栽管理
ダイセーフォレストパーク
（鈴鹿青少年の森）



芝生広場管理
三重びよクエの森
（三重県民の森）

（3）協働による公共空間の緑化の推進



ボランティアによる花壇整備
（亀山サンシャインパーク）



2 令和6年度の取組状況（施策2：P23～P27）

2 街路樹等の機能の発揮



（1）街路樹等を生かした道路空間の魅力向上

（2）協働による道路空間づくり

質の高い街路樹管理の導入までの流れ



みえ花と絆のプロジェクト



2 令和6年度の取組状況（施策3：P28～P29、施策4：P30～P34）

3 社会福祉施設等における花とみどりの活用の促進



（1）花とみどりを通じた交流促進と施設の緑化推進



一志病院における地域の小学校と協働した花植え活動



明野高等学校の園芸福祉活動



4 花とみどりの文化の振興



（1）日常生活における 花とみどりの活用の促進



花苗配布
（大仏山公園）

（2）花とみどりに関する文化の紹介



SNSによるボラン
ティア活動のPR

（3）花とみどりに関する知識等の普及



熊野少年自然の家の野草を
活用した体験イベント



2 令和6年度の取組状況（施策5：P35～P38、施策6：P39～P41）

5 花とみどりの教育等の推進



（1）学校教育における花とみどりの活動



学校花壇コンクール
への参加（67校）



久居農林高校の庭園
管理実習

（2）花とみどりを通じた地域活動の取組



地域における美化・清掃活動

6 花とみどりの名所づくりの推進



（1）花とみどりの名所づくり



植樹した桜
（ダイセーフオレストパーク）



森林ウォーキング

（2）花とみどりの名所等の情報発信



SNSによる
情報発信
（北勢中央公園）



2 令和6年度の取組状況（施策7:P42～P45、施策8:P46～P48）

7 人材育成等



（1）人材の育成・確保



農業大学校における
シクラメンの採種作業

（2）産業への支援



鈴鹿花き温室組合品評会



産地の認知度向上に向けた
PR活動

8 情報収集等



（1）専門的な情報の提供や調査研究の推進



みえ花フェスタにおける
花き産地のPR



三重県植木品評会での審査



県ホームページによる
情報発信



難発根性のオリーブの
増殖試験



2

令和6年度の取組状況（施策9:P49～P56、施策10:P57～P58）

三重県
Mie Prefecture

9 県民及び事業者の理解の増進等

（1）イベントの開催や情報発信



花とみどりの日の
イベント



SNSを活用した
情報発信

知る

（2）条例の周知と活用するための仕組みづくり



みえ花と絆のプロジェクトでの
PRグッズの活用

10 顕彰

（1）表彰・コンクールの開催



フラワー・ブラボー・コンクール三重県大賞



三重県花き品評会での審査の様子



花き品評会入賞作品の展示

知る

つなぐ



目標の設定

基本方針に基づき、条例でめざす姿が実現された状態を見据えつつ、取組の視点ごとに目標を設定します。

目標は、各施策の具体的な取組から、重要と考える項目を抽出しています。

R6-R9
基本方針

花とみどりあふれる
未来に向けた土台づくり

～多くの県民が花とみどりが活用された
まちづくりを実感するために～

1

花とみどりを
知る

目標
(7項目)

2

花とみどりを
魅せる

目標
(5項目)

3

花とみどりで
つなぐ

目標
(2項目)

10の施策



3

目標の進捗状況（花とみどりを「知る」）

	花とみどりを「知る」 目標項目	R 6		R 7	R 8	R 9 目標値	基本計画での位置づけ（参考）		
		目標値	目標達成状況	目標値	目標値		分類		取組名
		実績値		実績値	実績値				
①	県のホームページ「花とみどりの情報」を通じた情報発信の回数	1回／月 1～5回／月 (20回／年)	167%	1回／月 －	1回／月 －	1回／月	8(1)	取組 3	三重県ホームページ「花とみどりの情報」の充実
②	条例の内容を周知するための啓発物品等の作成	2コンテンツ／年 5コンテンツ／年	250%	2コンテンツ／年 －	2コンテンツ／年 －	2コンテンツ／年	9(2)	取組 1	気運醸成に向けた条例の周知
③	花とみどりの効用の周知や花とみどりに触れる機会創出のためのイベント・講習会の実施回数	5回／年	160%	5回／年	5回／年	5回／年	4(3)	取組 2	各種展示・体験イベント・講習会の開催
		8回／年		花き分野の求人数が少なかったため			9(1)	取組 1	「花とみどりの日」「街路樹の日」におけるイベントの開催
					9(1)		取組 2	消費拡大イベントの開催	
④	農業大学校における花き専攻コース受講生の花き生産・流通・販売業への就職率 ※現状値(R 4)：40%	50%	80%	50%	50%	50%	7(1)	取組 1	花き生産者の育成・支援
		40%		台風で展示商談会の日程が変更され、不参加者が出たため					
⑤	花とみどりの産地の認知度向上につながる取組を行った生産者数 ※現状値(R 4)：30 戸	36 戸	97%	38 戸	40 戸	40 戸	7(2)	取組 3	花き生産者への支援
		35 戸		－	－				
⑥	花き生産者への生育診断・技術支援実施回数	12回／年 24回／年	200%	12回／年 －	12回／年 －	12回／年	8(1)	取組 2	花き生産者への支援
⑦	花とみどりに関する専門的知見蓄積のための調査研究課題数	3課題／年	100%	3課題／年	3課題／年	3課題／年	8(1)	取組 4	調査研究の実施
		3課題／年		－	－				

※現状値は計画策定時の数値です。



3 目標の進捗状況（花とみどりを「魅せる」）

	花とみどりを「魅せる」 目標項目	R 6		R 7	R 8	R 9 目標値	基本計画での位置づけ（参考）		
		目標値	目標達成 状況	目標値	目標値		分類		取組名
		実績値		実績値	実績値				
①	花とみどりを活用した取組を行う県本庁舎・地域庁舎数	全庁舎で実施／年 全庁舎で実施／年	100%	全庁舎で実施／年 —	全庁舎で実施／年 —	全庁舎で実施／年	1(1)	取組 1	県庁舎等における取組
②	管理目標樹形を設定する街路樹の割合 ※令和 12（2030）年までに管理目標樹形を 100%設定することを目標とし、令和 9（2027）年は中間値の 65%を設定。 ※現状値：—	健全度診断の準備 健全度診断の準備	100%	健全度診断の実施 —	30% —	65%	2(1)	取組 1	街路樹等の維持管理
③	指定管理者制度を導入している県営都市公園での花とみどりに触れることのできるイベント実施回数	1 回／年 各公園 2 回／年	200%	1 回／年 —	1 回／年 —	1 回／年	4(1)	取組 1	県営都市公園における花とみどりの文化の振興
④	指定管理者制度を導入している県営森林公園での花とみどりに触れることのできるイベント実施回数	24 回／年 125 回／年 ※ 2 施設の平均	521%	24 回／年 —	24 回／年 —	24 回／年	9(1)	取組 3	森林公園でのイベント等の開催
⑤	花とみどりの名所に関する情報発信のための季刊紙「観光三重」の活用回数	4 回／年 4 回／年	100%	4 回／年 —	4 回／年 —	4 回／年	6(2)	取組 2	観光名所の情報発信

※現状値は計画策定時の数値です。



3 目標の進捗状況（花とみどりを「つなぐ」）

	花とみどりで「つなぐ」 目標項目	R 6		R 7	R 8	R 9 目標値	基本計画での位置づけ(参考)		
		目標値	目標達成状況	目標値	目標値		分類	取組名	
		実績値		実績値	実績値				
①	地域づくりにつなげるための道路、河川等のインフラを舞台とした緑化活動への参加人数	4,600 人/年	114%	4,700 人/年	4,800 人/年	4,900 人/年	1(3) 2(2)	取組 1 取組 1	道路・河川・海岸・都市交通美化ボランティア活動助成（推進）事業
	※現状値：4,300 人/年 (H31～R 3の平均値)	5,224 人/年		—	—		2(2)	取組 4	ふれあいの道事業
②	地域づくりにつなげるための「花と絆のプロジェクト」による花植え活動の実施箇所数	10 箇所/年	150%	10 箇所/年	10 箇所/年	10 箇所/年	2(2)	取組 2	みえ花と絆のプロジェクト
		15 箇所/年		—	—				

※現状値は計画策定時の数値です。

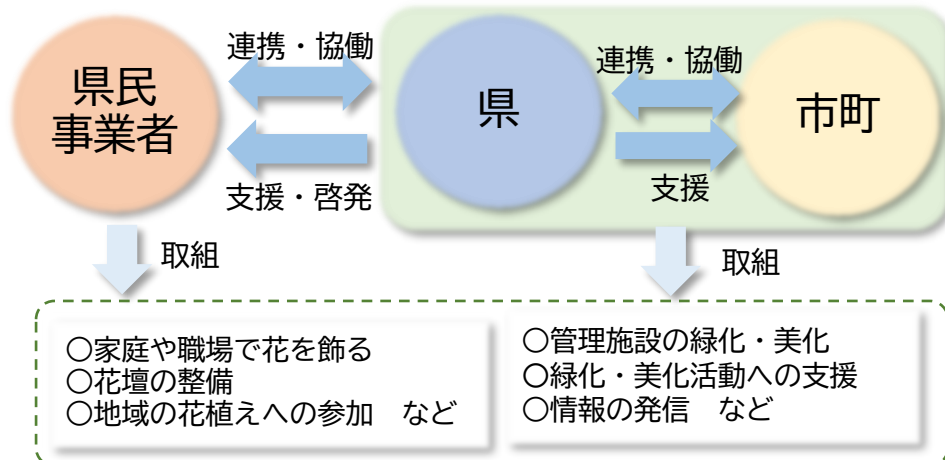


推進体制

本県における花とみどりの活用の推進を図るためには、県が牽引役となり、市町、県民及び事業者等が、それぞれの役割に応じて、主体的かつ積極的に取組を進めるとともに、連携・協働のもと、花とみどりに関するさまざまな活動に取り組むことが必要です。

推進会議

調査・審議

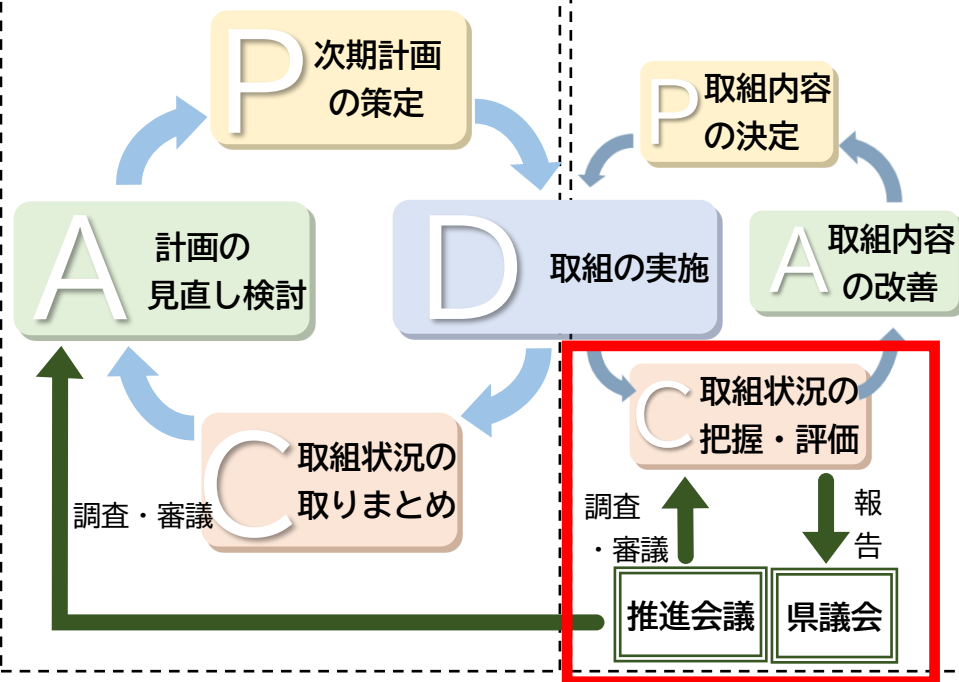


進捗管理

毎年度の進捗状況を、**推進会議で調査・審議し**、その結果を踏まえて、よりよい取組になるよう内容を改善していくとともに、必要に応じて新たな取組を検討します。

4年間のフロー

1年間のフロー





●花とみどりの三重づくり推進会議

「花とみどりの三重づくり推進会議」を開催し、基本計画に基づく年次報告書（案）について、審議が行われ、意見をいただきました。



【開催概要】

日時：8月26日（火）10：30～11：45

内容：花とみどりの三重づくり基本計画に基づく年次報告書（令和6年度版）について

【主な意見】

- ・ 条例を知ってもらうためには多くの予算が必要なため、県政だよりやイベントでの周知が重要。
- ・ 最新情報として、刑務所での園芸福祉ガーデンの取組や「伊勢国お庭街道」が国交省のガーデンツーリズムに登録されたことなどを記載してはどうか。

今後も引き続き、条例の周知や啓発活動を継続するとともに、いただいた意見を踏まえ、計画の進捗管理や次期計画の検討に活用してまいります。